すべてのステークホルダーの皆様へ

SHAPING THE NEW KDDI

勇気をもってKDDIを 変えていきます。

KDDIは、2010年10月に第二電電株式会社、KDD株式会社、日本移動通信株式会社の3社合併による発足から10周年を迎えました。これもひとえにステークホルダーの皆様のご理解とご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に深い哀悼の意をささげるとともに、被災された地域の皆様に、 心よりお見舞いを申し上げます。

当社は通信事業者として信頼性の高いネットワークで通信サービスを絶え間なくお届けすることを使命として、通信サービスの早期復旧に努めました。今後も一刻も早い復興に向けた最大限の努力をしていく所存です。

さて、KDDIの事業を取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするさまざまなデバイスや音楽・映像などのコンテンツが、FTTHを含めたさまざまなネットワークにより有機的に結ばれる世界へと、サービス競争の質が大きく変化しています。

このような事業環境の変化の中で、2010年度の当社連結業績は、営業収益は減収となったものの、10期連続の営業増益を達成することができました。

移動通信事業においては、「シンプルコース」への移行に伴う音声ARPUの減少や、800MHz帯周波数の再編に伴う一時的なコスト増影響などにより減収減益となりました。

一方、固定通信事業においては、長年の課題でありました 営業黒字化を7期ぶりに実現するとともに、期初の営業利益 見通し100億円を大幅に上回る結果となりました。

2011年度に、まず我々が早急に取り組むべき課題は、移動通信事業のモメンタム回復と固定通信事業における増収増益の確立です。何としてもその実現を果たすため、そして新たなKDDIを創り上げていくため、勇気をもって一歩を踏み出します。

当社は「もっと身近に!」「もっとグローバルへ!」「もっといるんな価値を!」を新たな事業ビジョンに掲げました。今後ビジネスモデルの変革を大胆に進めていきたいと考えています。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年7月

田中孝司

KDDI株式会社 代表取締役社長

田中 孝司

略歴

2007年 6月 KDDI株式会社 取締役執行役員常務 ソリューション事業統轄本部長

2010年 6月 同代表取締役執行役員専務 ソリューション事業本部担当

兼 コンシューマ事業本部担当 兼 商品開発統括本部担当

2010年 12月 同代表取締役社長

